

2017年 大学入試合格速報

～継続は力。最後の1ヶ月で急速な伸び～

富田教室長より



今年の高校3年生の大学入試が終わりました。今年は2月の最後まで一般入試に立ち向かう受験生もいて、今月になってやっと結果が確定しました。



京都府立大学

文系3教科だけで受験ができる公立大学として有名



立教大学・中央大学・法政大学

MARCHのR・C・Hです(関西でいう関関同立のレベル)



関西大学・龍谷大学・京都産業大学

関関同立・産近甲龍とまとめられる関西難関私大に合格



愛知大学・愛知淑徳大学・名古屋文理大学

推薦入試・AO入試・一般入試と幅広い受験方法に沿って高校の評定対策・面接練習・小論文対策まで納得いくまでサポートしました。

正直なところ、12月の全国模試で合格E判定(合格可能性20%未満)の生徒さんもいました。

受験直前で、不安だったことに違いありません。この志望校で本当に良いのか？今している勉強法のままで本当に続けて大丈夫なのか？疑心暗鬼になってしまう局面だったでしょう。

でも、この生徒さんは、立ち止まらずに努力し続けました。最終的に E判定を合格に塗りかえた のですから、まさに 継続は力 ということです。



あさけ通り物語～県道8号線あれこれ～



Google ストリートビューより

先日、笹川通りを走っていたら、こんな看板が目に入りました。

「笹川から生桑へ抜ける道があるんだ・・・」と思って、その8号線とやらに目を向けたら、下写真の光景。対向車が来たらすれ違いはきつそう。

8号線という名前に引っかかるものがあつたので、家に帰って調べてみたら、なんてことはない、教室の前を走る あさけ通りの県道のことでした。

↓教室付近の地図



少し悲しい話をしますが、教室前の道路にしばしばネコが車にひかれて亡くなっています。教室前の場合、私がネコのかたづけをしているのですが、引き取りは県道と市道で窓口が違うんです。 県道は北勢県民局管轄で、市道は市役所管轄。そして、教室前は県道8号だと

思っていたら、北勢県民局の方が「そこは昔は県道でしたが、今は市道に移管されましたから市道です」と返答。上の地図を見てみると、確かに県道8号は教室

すぐ南で折れ曲がっています。

(後日、市役所に電話したら、ネコなど道路上の遺留物の管理窓口は平日が市役所、土日は北部清掃事業所だと教えられました。細かく分かっているなあ・・・) コメダ珈琲とガソリンスタンドの所を茂福方面に入る狭い道ありますよね。あれが県道8号です。三重県で8番目に制定された歴史ある主要地方道です。

三重県道8号四日市鈴鹿環状線

三重県道8号四日市鈴鹿環状線(みえけんどう8ごう よっかいちすずか かんじょうせん)は、三重県四日市市から鈴鹿市までを結ぶ主要地方道。四日市市と鈴鹿市の市街地を結ぶ重要路線である^[2]。

↑ ↓ wikipedia より。車の通行が難しい険道として知られているようです。

概要 [編集]

主要地方道で、概ね片側1車線道路だが、四日市市笹川付近・同市采女付近等では、対向するのめ敷しい狭道がある。さらに大字茂福の北部では乗用車一台分の幅しかなく大型車は通行不能。さらに、鈴鹿市神戸付近も道幅が狭く、一方通行区間がある。各所で改良が進められ、四日市市波木町から四日市市采女町の間で事業が行われる予定である^[3]。

路線データ [編集]

- 陸上距離：26,828m
- 起点：四日市市東富田町1017-17番地先^[4] - 近鉄富田駅口交差点 = 国道1号交点
- 終点：鈴鹿市北玉垣町字細田1660の4番地先^[4] - 北玉垣町交差点 = 国道23号交点



この県道。スタート地点は、国道1号線とあさけ通りがぶつかる交差点です。第三銀行があるあそこです。

終点は、国道23号線と鈴鹿市役所の横を通る旧道23号線の合流地点なんですね。

1号線を南下すればそのままここに行けるのに、県道8号は笹川～生桑～垂坂～富田と接続するわけなので、とんでもない迂回道です。

県道 8 号の地域ごとの通称→

あさけ通りもしっかり書いてあります。

つまり、あさけ通りは県道と市道の複合体だったわけですね。

別名 [編集]

- あさけ通り（四日市市）
- 伊勢街道（四日市市、鈴鹿市）
- 伊勢参宮街道（四日市市、鈴鹿市）
- 旧国道23号（四日市市、鈴鹿市）

沿線 [編集]

- 近鉄名古屋線・三岐鉄道三岐線近鉄富田駅
- 三重県立四日市高等学校
- 四日市市立三重小学校
- イオン四日市尾平ショッピングセンター
- 伊勢国分寺跡
- 鈴鹿市考古博物館
- 鈴鹿市立神戸中学校
- 鈴鹿市立河曲小学校
- 近鉄鈴鹿線鈴鹿市駅
- 鈴鹿市役所
- 三重県立四日市商業高等学校
- 三重県立神戸高等学校

↑ 県道 8 号沿いにある各種施設。四日市高校と尾平イオン（私はおびジャと今でも呼んでます）と鈴鹿市役所と神戸高校が同じ道路上にあるという感覚は、ありませんでした。皆さんはどうでしょうか？

伊勢国分寺の名前があります。ちょっと歴史の話をしてします。

国分寺とは、昔、奈良時代に聖武天皇が各国に 1 つずつその国を代表する寺を建てた時の寺院名で、大体、国衙（昔の県庁）の隣に建てられていました。今も全国に国分寺の地名が散らばっていますが、そこは昔の県庁があった場所を示します。伊勢国分寺は、伊勢国の国衙が置かれていた場所なので、伊勢街道と呼ばれていたのもうなずけます。

県道 8 号がうねうねと迂回する理由も、むかし栄えていた町や集落同士を結んでいたからで、今みたいに山を切り開いて平らな道にすることはせず、自然の地形や山の等高線の流れに沿って作っていたからです。車の通行を



鈴鹿市考古博物館は、伊勢国分寺跡の横に建てられた博物館です。今も発掘中。

想定して作られた最近の道ではないという証拠です。

ふだん何気なく使っている道 1 つにも深い歴史が眠っていて、調べていておもしろかったです。

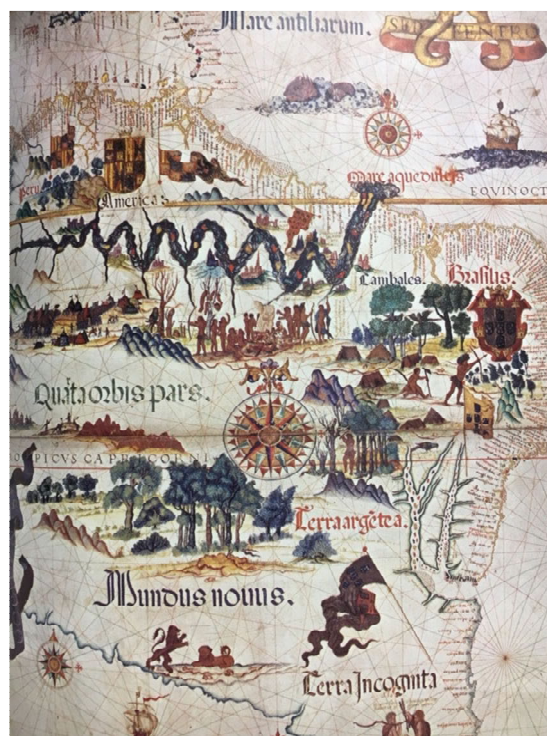
勉強の喜びって、こういう所にあると思わされます。

たとえば「自由研究」という強制的な課題や指示で、子どもが興味を持って調べている姿って、あまり見たことがありません。

気になった時に、自分で興味が湧き、自分で調べて発見すると、まるで新しい大陸を発見した海賊のような“冒険者”の喜びがあります。これは人から指示されて得られるものではありません。

このような冒険者の喜びをゲットするためには、興味のアンテナを色んなところに立てておくことが大切です。でも、子どもたちは友だちの会話の中で自分の興味の世界ができあがります（例：ゲーム・TV・スマホ etc）。

もし、お子様の興味の世界が限られているなど保護者の皆様が気づかれたら、大人が知っている色々な世界を、ふだんの会話で散りばめて、お子様のアンテナを広げてみてはいかがでしょうか？



『図説 探検の世界史 3 紙と黄金と栄光と』(1975年) 教室にあります。リアル「ワンピース」の世界はここに

知らない世界が数ある中で、どこかで子どもが興味を持ち、勝手に調べだします。その中でハマる世界に出会えた時、そして、それが将来につながる世界だった時、お子様の視野と見えない学力は確実に伸びると確信しています。

学校で習った新しい言葉や、本で出会ったふだん使わない言葉を、日常会話で使うように導くのも効果的です。知らず知らずのうちに国語力が上がります。